

## 日本医学会医学用語辞典（英和辞典）の改訂

### A 用語辞典とは何か？

医学用語辞典（英和）にも、さまざまな種類がある。

- 1) 医学的な立場から、用語について解説を付したもの
- 2) 翻訳の立場から、用例などを付したもの。用語はできるだけ多い方がよい。
- 3) 教育ならびに診療の必要性から用語の標準化をめざしたもの。利用される英語ならびにその翻訳語について優先的に使用すべき「推奨語（Preferred Term）」を示す。
- 4) シソーラス 上位語、下位語、同義語などを整理して一覧できるようにしたもの

日本医学会医学用語辞典（英和）のめざしているのは、3) 用語の標準化を目的とした辞典である。従って、収載語数は必ずしも多い必要はなく、基本的な英語見出し語と対応した日本語について推奨語を示す。

### B 日本医学会医学用語辞典の改定

#### 現在の用語辞典の問題点

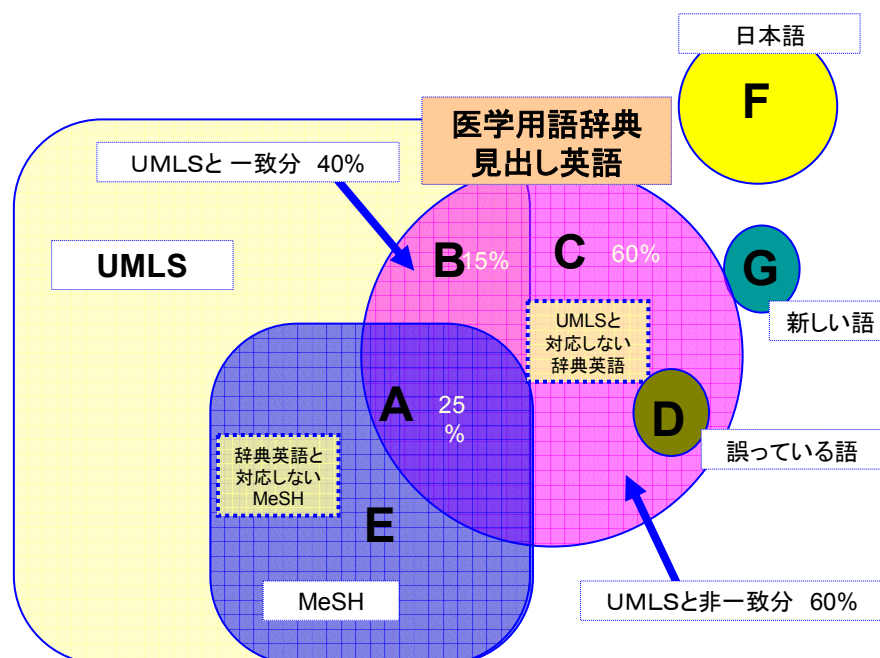
- ・ 日本の複数の辞書などから英語見出し語を収集したために、現在、英語圏では使われな  
いような見出し語がある
- ・ 歴史的に意味があったが現在は使われない用語が存在する。（例えば、梅毒に関連した  
詳細な用語など）
- ・ 過去に手作業で校正が行われたため、多くのスペルの誤りなどが見過ごされて残ってい  
る
- ・ 同義語を含め並列的に並べられているために、優先して使われるべき推奨語（preferred  
term） かがわからない。（英語及び日本語）

#### 改訂の基本方針

- ・ さしあたり、英和辞典の改定を行う
- ・ **英語見出し語及び日本語に推奨語（Preferred Term）の考え方を導入する**
- ・ 英語の見出し語は、米国国立医学図書館で開発された U M L S（Unified Medical  
Language System）及び、M e S H（Medical Subject Headings）に採用されている英  
語を推奨語と考える。
- ・ 対応する日本語は、学会の協力を得て、できるだけ推奨語が1語になるように努力する

## 作業手順

- ・ 現在の医学用語辞典の英語の見出し語を中央の赤い円形で示す（約79000語）
- ・ UMLS を左側の四角形で示し、その一部に MeSH がある。
- ・重なっている部分は、両方にその語が存在することを示す。



	用語の分類	大凡の語数	作業の内容	作業主体
A	MESHと一致する語	20000語	全部採用	委員会担当
B	MESHに存在しないがUMLSに存在する語	12000語	選別して採用	委員会担当
C	UMLSに存在しない語	48000語	選別して採用	委員会担当
D	誤り又は不必要と思われる語	3500語	疑問のある5000語を訂正整理した上で不必要と思われる約3500語を削除	委員会担当
E	MESHに存在するが、医学用語辞典にない語	12000語	選別して採用 仮の日本語付与	委員会担当、分科会と日本語を調整
F	医学用語辞典の日本語	90000語	分科会用語集や標準病名集と対比・修正	分科会担当、+標準病名集作業班担当、委員会調整
G	A-Eに含まれていない用語		用語の追加	分科会担当、委員会調整

## スケジュール

年月	行事予定	内容
2005 年度		
2006 年 1 月		作業 A、作業 D
2 月		作業 A、作業 D
3 月	医学用語管理委員会 医学用語委員会開催	
2006 年度		
4 月		委員会において作業 B、C、E、F
5 月		
6 月		
7 月		A - E の終了した第一次案作成 各分科会へ送付
8 月		分科会において E、F、G の作業、委員会は調整
9 月		
10 月		
11 月		
12 月		電子版完全原稿完成 出版社選定
2007 年 1 月		印刷
2 月		印刷・製本
3 月	医学用語管理委員会 医学用語委員会開催	医学用語辞典完成
2007 年度		
4 月	日本医学会総会（大阪）	展示・販売

## 資料 3 付録

UMLS (Unified Medical Language System) と MeSH(Medical Subject Headings)

### UMLS とは

UMLS は米国国立医学図書館(National Library of Medicine: NLM)が1986年から取り組んでいる統合型の医学用語システム。

このプロジェクトの目的は現在ある各種の電子的なファイル、文献データベース、患者記録、ファクトデータバンク、知識ベースなどを検索、統合化するために構想された。

UMLS には約100種の既存の用語集、シソーラス、コードなどから医学用語が収集され UMLS のコンセプトごとに整理されて、巨大な医学用語データベースとして NLM から一般に公開されている。

現在；

情報源 MeSH (医学文献シソーラス)、ICD (疾病統計)、SNOMED-CT (臨床コード) など約100種

情報量 100万のコンセプトに500万個の医学用語が同義語として配置される。コンセプト間の階層構造はないが、元の用語集、シソーラスの構造は示される。

ファイル：メタシソーラス：100万のコンセプトに定義、同義語、情報源、翻訳語

意味ネットワーク：コンセプト間の意味的關係（原因・結果、部分など54種）

### MeSH とは

NLM の作成している医学文献データベース MEDLINE 索引および検索のために編集（毎年改訂）されているシソーラス（統制用語集、件名標目表）

アルファベット順リスト：デスクリプタ；22、997語（2005）、  
同義語；24、050語、化学物質；約15万

階層リスト(Tree Structures)：すべてのデスクリプタはAからN、Zのカテゴリーに分類され、12階層に排列される。例；A：解剖用語、C：疾患、E：診断・治療技術

### UMLS の PubMed での適応

MEDLINE データベースのWeb版である PubMed では、検索語を与えると、システム側で UMLS が自動的に働いて検索語に相当する MeSH 用語を探し、検索式を組み立ててくれる。

（例；Stomach Cancer と入れると MeSH term；Stomach Neoplasms と翻訳する。

PubMed の Details のボタンを押すと質問文の翻訳過程と使われた検索式が示される。）